

総合的なコメント

保護者等からの事業所評価の結果では、保護者の方々は多くの項目で満足されていました。貴事業所が児童発達支援事業として、子ども達に提供しているサービスの質は高く、社会的に大きな貢献があると評価いたします。専門性の高いスタッフの力量の結果と見受けられます。その中で、事業所や保護者の方が指摘した点についていくつかの課題点が見られますので、以下項目でコメントを記載いたします。

1 プログラムの多様性と個別対応

子どもたちが自分に合ったプログラムに参加できるよう、プログラムの多様性と柔軟性を高めることが今後の課題となります。子ども達の興味やニーズに応じてプログラムを調整することで、より効果的な支援が可能になります。そのためには、子ども達個々のアセスメントが重要なカギとなります。また、その内容を保護者の方にどのように伝えるのかという点も必要です。日々の連絡帳、個別支援計画、モニタリング、支援会議等での活用が望まれます。

2 保護者と施設・保護者同士のコミュニケーション

交流会や保護者同士の連携等に不足しているように見受けられます。実際には利用者様の家庭環境は多様であり、交流会等を開催するのは難しい点もあります。保護者がこのような活動に積極的に参加しやすい環境を整えることも、家庭と施設との連携を強化する上で有効だと思われます。例えば、就学前にサポートブックの作成ワーク等保護者のニーズを取り入れた交流会等を工夫していただきたいと思います。

3 ペアレントトレーニング

ABAのスペシャリストがスタッフとして所属しているので、有意義なペアレントトレーニングができるのではないかと思います。保護者の負担も配慮した取り組みでお願いしたいと思います。

〈総括〉

様々な職種が専門性を生かしつつ、連携して日々の子供たちの対応について熱心に取り組んでおり評価できる。保護者アンケートの結果からも9割以上の保護者が「支援に満足している」と解答されており質の高い支援がされていると思われる。

設立後日が浅いこともあるが、身体拘束に対する決め事、非常災害時の対応については改善の余地があり、今後の課題である。

神戸教育短期大学 こども学科 准教授

中塚 志摩

奈良学園大学保健医療学部リハビリテーション学科 教授

柴田 政彦